



ようこそ！多古中図書館へ！

新しい出会いがいっぱいの4月です。図書館でも、たくさんの本が皆さんを待っています。多古中学校には、小説やエッセイ、宇宙や動物や植物、スポーツや料理、歴史や社会や外国語についてなど、いろいろな本が14,169冊あります。図書館で、心に残る本との出会いがありますように・・・。



図書館利用案内



《開館時間》 水～金曜日 8:30～16:15

月・火曜日 昼休み

《貸出冊数》 一人 2冊まで

《貸出期間》 1週間 （読み終わらなかった時は、一度返却してからまた借りましょう。）

☆貸出方法 カウンターで学年・クラス・名前を言い、本のバーコードを通してもらいます。

☆予約 読みたい本を他の人が借りている時は、学校司書にお知らせください。返却され次第お届けします。

☆リクエスト 読みたい本が図書館にない時は、リクエスト用紙に記入してBOXへ入れてください。後日、結果をお知らせします。

☆ルール 図書館では静かにしましょう。また、本は大切に扱いましょう。

本や図書館のことでわからないことがあったら、学校司書に気軽に声をかけてください。

今年度の図書館スタッフ

- ・閑野勇飛 先生
- ・村山将和 先生
- ・小川豊江 学校司書
- ・図書委員



学校司書の 小川豊江です。

毎週 水・木・金 曜日、8時30分～
16時15分まで図書室にいます。

4月23日～5月12日はこどもの読書週間

4月23日は「子ども読書の日」なぜ？

スペインのカタルニア地方で、騎士サン・ジョルディは悪いドラゴンを退治し、4月23日に殉職しました。この日を記念して、退治した竜の血の色である赤いバラを男性から女性に贈り、女性から男性に本を贈る習慣ができました。その後、フランコ独裁時代にカタルニア語を禁止され、スペイン語使用を義務付けられました。その時、この地方では4月23日にカタルニア語の本をお互いにプレゼントしあい祖国への愛を誓ったと言われていました。これにちなみ、1986年にユネスコは、4月23日を「世界本の日」としました。日本でも2001年12月に、法により「子ども読書の日」と決めました。



保護者の皆様へ

この度はお子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

図書館では生徒とともにご家族で読書を楽しんでいただきたく、保護者の皆様にも生徒を通して本を貸し出しております。ご利用いただき、生徒の読書習慣定着にご協力をよろしくお願いいたします。